２０２４年度

北海道医療大学大学院ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学研究科

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学専攻

博士前期（修士）課程

博士後期（博士）課程

学生募集要項

目次

研究科の特色・教育理念・三方針

１．研究科の特色
２．教育理念、教育目標、三方針
　入学者受入れの方針
　教育課程編成・実施の方針
　学位授与の方針

学生募集要項／博士前期（修士）課程

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学専攻
　一般選抜（第１回）　…… 1
　一般選抜（第２回）　…… 3
　社会人選抜（第１回）　…… 5
　社会人選抜（第２回）　…… 7

学生募集要項／博士後期（博士）課程

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学専攻
　一般選抜　…… 9

長期履修制度　…… 11

教育訓練給付制度　…… 13

経済的支援制度　…… 14

授業科目の概要
http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/for/student/syllabus/
研究分野
ttp://www.hoku-iryo-u.ac.jp/daigakuin_rehabili/kouza/

リハビリテーション科学研究科の特色

本研究科では、次の 3 分野を教育・研究の柱としている。また、学際領域としてのリハビリテーション科学を発展させるために、本学の関連諸学問分野（医学・歯学・薬学・看護学・臨床福祉学・臨床心理学）との有機的な連携を図りながら教育・研究を推進していく。

１）生体構造機能・病態解析学分野

理学療法や作業療法をはじめとするリハビリテーションの科学的基盤となる分野である。ヒトの正常な生体構造・機能や各種疾患に起因する生体構造・機能の変化とそのメカニズムを主な研究テーマとする。本分野には、解剖学、身体運動科学、運動・動作解析学の専門領域を置いている。リハビリテーションの科学的基盤となる医科学に関する最新知見を学習し、修得した専門知識と技術を活用しながら臨床課題を解決できる人材を育成する。

２）リハビリテーション治療学分野

各種障害に対するリハビリテーションの治療介入を主な研究テーマとする。本分野には、内部障害リハビリテーション、運動障害リハビリテーション、発達障害リハビリテーション、精神障害リハビリテーションの専門領域を設けている。各種障害に対するリハビリテーションの最新知見をもとに学習し、 臨床現場において適切な障害評価と原因を追求できる、さらには科学的根拠に基づいたリハビリテーション治療介入を展開できる人材を育成する。

３）地域健康生活支援学分野

地域社会において障害（児）者や高齢者が健康で主体的な生活を営んでいくための支援策を主な研究テーマとする。本分野には、作業行動学と地域生活支援学の専門領域を置いている。障害（児）者の日常生活活動への支援や高齢者の健康増進への取り組み等について学習し、医療のみならず保健や福祉の現場で対象者の生活を支援できる人材を育成する。

北海道医療大学大学院

教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合を図る教育を推進し、人間性豊かな高度専門職業人の養成ならびに独創的な研究活動を通して、社会の発展と人類の幸福に寄与することを北海道医療大学大学院の教育理念とする。

教育目標

１．豊かな学識と人格の養成
２．高度な専門知識および学術の修得
３．独創的な研究および研究能力の開発
４．社会の要請に的確に対応できる教育・研究の推進

リハビリテーション科学研究科
博士前期（修士）課程

教育理念

高度化、多様化が進む現代の保健・医療・福祉分野において、先進的な専門知識と技術を身につけ、質の高いリハビリテーションを実践できる人材を養成することにより、人々の保健・医療・福祉の要請に応え、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（修士課程）の教育理念とする。

教育目標

１．先進的な専門知識および技術を備え、質の高いリハビリテーションを展開できる人材の養成
２．保健・医療・福祉の現場で、優れた管理・指導能力を持って指導的役割を担うことのできる人材の養成
３．科学的および学際的視点から臨床的課題を解決することのできる人材の養成

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（修士課程）では、地域における保健・医療・福祉の充実に携わることに強い意欲を持ち、高度専門職業人としてリハビリテーションの実践に寄与すべく自己研鑽できる人材を求めます。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本研究科「入学者受入れの方針」に従い入学した大学院生に対し、本研究科の教育理念・目標に基づき、以下の方針のもとで教育を実施する。

１．授業科目は、リハビリテーション領域における高度専門職業人としての管理・指導能力や研究遂行能力の基盤を培う「共通科目」、最新の専門知識と技術を学び臨床実践能力を高める「専門科目」、関連学問領域を学ぶ「応用特色科目」、ならびに「研究指導」によって構成される。
２．共通科目には、組織をマネジメントする能力を育成するための教育法や管理学に加え、臨床研究を遂行する上で必要な研究法や統計学に関する科目を配当する。
３．専門科目には、各障害に対するリハビリテーション学分野の最新知識と技術、障がい者や高齢者などの地域生活支援に関して学ぶ科目を配当する。
４．応用特色科目には、学際領域であるリハビリテーション科学の臨床および研究実践に対応する上で必要な医科学系、心理学系、社会福祉学系の科目を配当する。
５．研究指導では、修士論文作成を行い、リハビリテーション科学における諸課題を追及する。
６．入学時志願者調査書や初期研究課題および学修カリキュラムにおける必修科目、選択科目の履修状況（修得単位数、GPA)、また、特論、演習科目の評価は、プレゼンテーション・討論の参加状況やレポート等を用いて評価する。修士論文作成に当たり、指導担当教員による研究指導を研究科として系統的に行い、課題研究達成度および最終年次における論文審査、最終試験、公開最終発表会により査定する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

以下の要件を満たし、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得したと認められる者に対して、「修士（リハビリテーション科学)」の学位を授与する。

１．リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（修士課程）に２年以上在学し、本研究科が定める履修上の要件を満たしている。
２．研究指導を受け、学位論文を提出し、本研究科が行う論文審査および最終試験に合格している。

リハビリテーション科学研究科
博士後期課程

教育理念

博士前期（修士）課程で修得したリハビリテーション科学に関する能力を基盤として、保健・医療・福祉分野における高度な学識と新たな真理を探究することのできる優れた研究能力を有する人材の養成と、リハビリテーション医療に対するすべての人々の要請に応え、保健・医療・福祉分野において科学的根拠に基づく専門能力を地域社会に適用し、指導的立場で活躍できる有能な教育者および実践指導者の養成を通して、社会の発展と人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（博士課程）の教育理念とする。

教育目標

１．高度な学識と研究能力を備え、質の高いリハビリテーション科学の探究と確立に寄与できる人材の養成
２．保健・医療・福祉の分野において、科学的根拠に基づく専門能力を地域社会に適用し、指導的立場で活躍できる有能な教育者および実践指導者の養成

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（博士課程）では、リハビリテーション科学の発展に寄与し、リハビリテーション医療における科学的根拠を探究すべく先進的研究活動を実践できる研究者または指導的立場で活躍できる教育者および実践指導者を目指す強い意欲を持つ人材を求めます。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（博士課程）の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

１．本専攻では、「生体構造機能・病態解析学分野」「リハビリテーション治療学分野」「地域健康生活支援学分野」の研究分野を設ける。
２．授業科目は、各分野における特講・演習、ならびに研究指導によって構成される。
３．研究指導では博士論文作成を行い、リハビリテーション科学を進化させ、科学的根拠を探求する。
４．学修目標に対する教員評価、修了生アンケートなどの結果に加え、単位取得状況やGPAにより査定する。特論、演習科目の評価は、プレゼンテーション・討論の参加状況やレポート等を用いて評価する。課題研究達成度および最終年次における論文審査、最終試験、公開最終発表会により査定する。また、研究能力を生かす高度医療専門職としての就業や就職率および研究への貢献を査定する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

以下の要件を満たし、保健・医療・福祉の分野において、リハビリテーション科学に関する高度な学識と研究能力および教育能力を修得し、リハビリテーション科学の発展を通して社会に貢献できると認められる者に対して、「博士（リハビリテーション科学)」の学位を授与する。

１．リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（博士課程）に３年以上在学し、本研究科が定める履修上の要件を満たしている。
２．研究指導を受け、学位論文を提出し、本研究科が行う論文審査および最終試験に合格している。

博士前期（修士）課程

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学専攻

＜一般選抜＞　＜社会人選抜＞

＜一般選抜（第1回）＞

1. 募集人員

リハビリテーション科学専攻：5名 （社会人を含む）

2. 募集研究分野

	研究分野
リハビリテーション科学専攻	生体構造機能・病態解析学分野、リハビリテーション治療学分野、 地域健康生活支援学分野

3. 出願資格

下記のいずれかに該当する者

（1） 大学を卒業した者、又は2024年3月までに卒業見込みの者

（2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2024年3月までに授与される見込みの者

（3） 外国において、学校教育における16年課程を修了した者、又は2024年3月までに修了見込みの者

（4） 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）を修了した者、又は2024年3月までに修了見込みの者

（5） 文部科学大臣の指定した者

（6） 本研究科が個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（2024年3月31日までに満22歳に達する者に限る）

4. 出願受付

（1） 出願期間 2023年9月20日（水）～9月28日（木）必着

（2） 受付場所 入試広報課

＊出願資格（1）～（5）に該当しない者は出願期間の1ヵ月前までに指導を希望する教員に申し出ること。

5. 出願手続

入学志願者は、下記の書類を入試広報課に提出、又は郵送（締切日必着）すること。

（1） 入学願書A・B・C票 （本学指定用紙）

（2） 成績証明書 （最終出身機関長が発行し、厳封したもの）

（3） 卒業（修了）証明書、又は卒業（修了）見込み証明書

（4） 志願理由書 （本学指定用紙）

（5） 履歴書 （本学指定用紙）

（6） 業務調書 （就業中の者のみ：本学指定用紙）

（7） 受験承諾書 （就業中の者のみ、勤務先代表者の承諾書：本学指定用紙）

（8） 受験票送付用封筒 （郵送希望者のみ宛先明記のうえ、344円分の切手を貼付すること）

6. 検定料

30,000円 ※ 振替払込請求書兼受領証、又は払込受領証を入学願書C票に貼付すること。

7. 選考方法

学力試験、面接、提出書類等を総合して判定する。

8. 学力試験

期日	時間	試験科目	場所
2023年10月12日（木）	9:30～11:00	専門科目*1	当別キャンパス
	11:30～13:00	英語*2	
	14:00～	面接	

*1 リハビリテーション科学分野を中心に出題

*2 辞書使用可（電子辞書は不可）

9. 合格発表

2023年10月19日（木）16:00

※ ホームページ上で発表し、合格者本人宛に書面で通知する。

10. 入学手続

（1） 入学手続期間 ： 2023年10月20日（金）～10月31日（火）

（2） 合格者は上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなければならない。

（3） 入学手続完了者には入学許可書を交付する。

11. 納付金

（1） 入学金：200,000円 （入学時のみ）

（2） 授業料：800,000円 （年額：2期分納可）
（入学手続時及び2年次前期（4月）：400,000円、後期（9月）400,000円）

上記のほか、後援会費（入会金5,000円：本学卒業生は免除、年会費30,000円：2期分納可）を委託徴収する。

（年会費：入学手続時及び2年次前期（4月）：15,000円、後期（9月）：15,000円）

入学手続時の納付金総額：620,000円

※ 入学金、授業料等の「経済的支援制度」については、14ページをご参照ください。

12. 入学辞退する場合の取扱い

入学手続完了後、やむを得ず入学を辞退する場合は、2024年3月29日（金）16:00までに入学辞退届（本学指定用紙）を提出してください。入学金を除く学納金は、入学辞退届の提出日に応じて、次の要領で返還します。また、上記期限までに入学辞退届の提出がない場合、本学学生としての身分が発生しますので、学納金等は一切返還いたしません。

（1） 入学辞退届を3月22日（金）までに提出した場合は、3月29日（金）に返還いたします。

（2） 入学辞退届を3月23日（土）から29日（金）までの間に提出した場合は、4月12日（金）に返還いたします。

注）「入学辞退届」の用紙は、申し出があった場合に送付いたします。

13. 注意事項

（1） 出願にあたっては、必ず事前に志望研究分野の指導教員に連絡を取り、希望する研究内容等について相談のうえ、了承を得てください。

（2） 入学願書を郵送する場合には書留郵便にて提出してください。締切日必着です。

（3） 一度提出した書類および検定料は返還いたしません。

（4） 入学を許可された者が卒業延期となった場合は、入学許可を取り消します。

（5） （4）の理由により入学許可を取り消された者は、前記「入学辞退する場合の取扱い」に従い、入学金を除く学納金の返還手続をとります。

（6） 提出書類に重要事項の記載漏れや虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

（7） 出願に関する問い合わせ先 ： 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 TEL：0133-23-1211

＜一般選抜（第2回）＞

1. 募集人員

リハビリテーション科学専攻：若干名

2. 募集研究分野

	研究分野
リハビリテーション科学専攻	生体構造機能・病態解析学分野、リハビリテーション治療学分野、 地域健康生活支援学分野

3. 出願資格

下記のいずれかに該当する者

（1） 大学を卒業した者、又は2024年3月までに卒業見込みの者

（2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2024年3月までに授与される見込みの者

（3） 外国において、学校教育における16年課程を修了した者、又は2024年3月までに修了見込みの者

（4） 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）を修了した者、又は2024年3月までに修了見込みの者

（5） 文部科学大臣の指定した者

（6） 本研究科が個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（2024年3月31日までに満22歳に達する者に限る）

4. 出願受付

（1） 出願期間　2023年12月20日（水）～2023年12月28日（木）必着

（2） 受付場所　入試広報課

＊出願資格（1）～（5）に該当しない者は出願期間の1ヵ月前までに指導を希望する教員に申し出ること。

5. 出願手続

入学志願者は、下記の書類を入試広報課に提出、又は郵送（締切日必着）すること。

（1） 入学願書A・B・C票 （本学指定用紙）

（2） 成績証明書 （最終出身機関長が発行し、厳封したもの）

（3） 卒業（修了）証明書、又は卒業（修了）見込み証明書

（4） 志願理由書 （本学指定用紙）

（5） 履歴書 （本学指定用紙）

（6） 業務調書 （就業中の者のみ：本学指定用紙）

（7） 受験承諾書 （就業中の者のみ、勤務先代表者の承諾書：本学指定用紙）

（8） 受験票送付用封筒 （郵送希望者のみ宛先明記のうえ、344円分の切手を貼付すること）

6. 検定料

30,000円　※ 振替払込請求書兼受領証、又は払込受領証を入学願書C票に貼付すること。

7. 選考方法

学力試験、面接、提出書類等を総合して判定する。

8. 学力試験

期日	時間	試験科目	場所
2024年1月19日（金）	9:30～11:00	専門科目*1	当別キャンパス
	11:30～13:00	英語*2	
	14:00～	面接	

*1 リハビリテーション科学分野を中心に出題

*2 辞書使用可（電子辞書は不可）

9. 合格発表

2024年１月26日（金）16:00

※ ホームページ上で発表し、合格者本人宛に書面で通知する。

10. 入学手続

（1） 入学手続期間 ： 2024年１月27日（土）～２月８日（木）

（2） 合格者は上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなければならない。

（3） 入学手続完了者には入学許可書を交付する。

11. 納付金

（1） 入学金：200,000円 （入学時のみ）

（2） 授業料：800,000円 （年額：２期分納可）
（入学手続時及び2年次前期（４月）：400,000円、後期（９月）400,000円）

上記のほか、後援会費（入会金5,000円：本学卒業生は免除、年会費30,000円：２期分納可）を委託徴収する。

（年会費：入学手続時及び2年次前期（４月）：15,000円、後期（９月）：15,000円）

入学手続時の納付金総額：620,000円

※ 入学金、授業料等の「経済的支援制度」については、14ページをご参照ください。

12. 入学辞退する場合の取扱い

入学手続完了後、やむを得ず入学を辞退する場合は、2024年３月29日（金）16:00までに入学辞退届（本学指定用紙）を提出してください。入学金を除く学納金は、入学辞退届の提出日に応じて、次の要領で返還します。また、上記期限までに入学辞退届の提出がない場合、本学学生としての身分が発生しますので、学納金等は一切返還いたしません。

（1） 入学辞退届を３月22日（金）までに提出した場合は、３月29日（金）に返還いたします。

（2） 入学辞退届を３月23日（土）から29日（金）までの間に提出した場合は、４月12日（金）に返還いたします。

注）「入学辞退届」の用紙は、申し出があった場合に送付いたします。

13. 注意事項

（1） 出願にあたっては、必ず事前に志望研究分野の指導教員に連絡を取り、希望する研究内容等について相談のうえ、了承を得てください。

（2） 入学願書を郵送する場合には書留郵便にて提出してください。締切日必着です。

（3） 一度提出した書類および検定料は返還いたしません。

（4） 入学を許可された者が卒業延期となった場合は、入学許可を取り消します。

（5） （4）の理由により入学許可を取り消された者は、前記「入学辞退する場合の取扱い」に従い、入学金を除く学納金の返還手続をとります。

（6） 提出書類に重要事項の記載漏れや虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

（7） 出願に関する問い合わせ先 ： 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 TEL：0133-23-1211

＜社会人選抜（第1回）＞

1. 募集人員

リハビリテーション科学専攻：5名 （一般を含む）

2. 募集研究分野

	研究分野
リハビリテーション科学専攻	生体構造機能・病態解析学分野、リハビリテーション治療学分野、 地域健康生活支援学分野

3. 出願資格

下記のいずれかに該当する者で、関連の専門領域で3年以上の実務経験を有する者

（1） 大学を卒業した者

（2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者

（3） 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

（4） 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）を修了した者

（5） 文部科学大臣の指定した者

（6） 本研究科が、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（2024年3月31日までに満22歳に達する者に限る）

※ 医療系の短期大学、又は専修学校を卒業（修了）し、以下の国家資格を有する者などが対象で、本研究科が個別に資格審査する。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、保健師、助産師、義肢装具士、診療放射線技師等

4. 出願受付

（1） 出願期間 2023年9月20日（水）～9月28日（木）必着

（2） 受付場所 入試広報課

＊出願資格（1）～（5）に該当しない者は出願期間の1ヵ月前までに指導を希望する教員に申し出ること。

5. 出願手続

入学志願者は、下記の書類を入試広報課に提出、又は郵送（締切日必着）すること。

（1） 入学願書A・B・C票 （本学指定用紙）

（2） 成績証明書 （最終出身機関長が発行し、厳封したもの）

（3） 卒業（修了）証明書、又は卒業（修了）見込み証明書

（4） 志願理由書 （本学指定用紙）

（5） 履歴書 （本学指定用紙）

（6） 業務調書 （就業中の者のみ：本学指定用紙）

（7） 受験承諾書 （就業中の者のみ、勤務先代表者の承諾書：本学指定用紙）

（8） 「専門士」の証明書、又は専修学校が発行する修業年限および修了必要総授業時間数を証明する証明書（専修学校卒業（修了）者のみ）

（9） 受験票送付用封筒 （郵送希望者のみ宛先明記のうえ、344円分の切手を貼付すること）

6. 検定料

30,000円 ※ 振替払込請求書兼受領証、又は払込受領証を入学願書C票に貼付すること。

7. 選考方法

小論文、面接、提出書類等を総合して判定する。

8. 学力試験

期日	時間	試験科目	場所
2023年10月12日（木）	9:30～11:00	小論文	当別キャンパス
	11:30～	面接	

9. 合格発表

2023年10月19日（木）16:00

※ ホームページ上で発表し、合格者本人宛に書面で通知する。

10. 入学手続

（1） 入学手続期間 ： 2023年10月20日（金）～10月31日（火）

（2） 合格者は上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなければならない。

（3） 入学手続完了者には入学許可書を交付する。

11. 納付金

（1） 入学金：200,000円 （入学時のみ）

（2） 授業料：800,000円 （年額：2期分納可）
（入学手続時及び2年次前期（4月）：400,000円、後期（9月）400,000円）

上記のほか、後援会費（入会金5,000円：本学卒業生は免除、年会費30,000円：2期分納可）を委託徴収する。

（年会費：入学手続時及び2年次前期（4月）：15,000円、後期（9月）：15,000円）

入学手続時の納付金総額：620,000円

※ 入学金、授業料等の「経済的支援制度」については、14ページをご参照ください。

12. 入学辞退する場合の取扱い

入学手続完了後、やむを得ず入学を辞退する場合は、2024年3月29日（金）16:00までに入学辞退届（本学指定用紙）を提出してください。入学金を除く学納金は、入学辞退届の提出日に応じて、次の要領で返還します。また、上記期限までに入学辞退届の提出がない場合、本学学生としての身分が発生しますので、学納金等は一切返還いたしません。

（1） 入学辞退届を3月22日（金）までに提出した場合は、3月29日（金）に返還いたします。

（2） 入学辞退届を3月23日（土）から29日（金）までの間に提出した場合は、4月12日（金）に返還いたします。

注）「入学辞退届」の用紙は、申し出があった場合に送付いたします。

13. 注意事項

（1） 出願にあたっては、必ず事前に志望研究分野の指導教員に連絡を取り、希望する研究内容等について相談のうえ、了承を得てください。

（2） 入学願書を郵送する場合には書留郵便にて提出してください。締切日必着です。

（3） 一度提出した書類および検定料は返還いたしません。

（4） 提出書類に重要事項の記載漏れや虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

（5） 出願に関する問い合わせ先 ： 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 TEL：0133-23-1211

＜社会人選抜（第2回）＞

1. 募集人員

リハビリテーション科学専攻：若干名

2. 募集研究分野

	研究分野
リハビリテーション科学専攻	生体構造機能・病態解析学分野、リハビリテーション治療学分野、 地域健康生活支援学分野

3. 出願資格

下記のいずれかに該当する者で、関連の専門領域で3年以上の実務経験を有する者

（1） 大学を卒業した者

（2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者

（3） 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

（4） 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）を修了した者

（5） 文部科学大臣の指定した者

（6） 本研究科が、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（2024年3月31日までに満22歳に達する者に限る）

※ 医療系の短期大学、又は専修学校を卒業（修了）し、以下の国家資格を有する者などが対象で、本研究科が個別に資格審査する。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、保健師、助産師、義肢装具士、診療放射線技師等

4. 出願受付

（1） 出願期間　2023年12月20日（水）～2023年12月28日（木）必着

（2） 受付場所　入試広報課

＊出願資格（1）～（5）に該当しない者は出願期間の1ヵ月前までに指導を希望する教員に申し出ること。

5. 出願手続

入学志願者は、下記の書類を入試広報課に提出、又は郵送（締切日必着）すること。

（1） 入学願書A・B・C票 （本学指定用紙）

（2） 成績証明書 （最終出身機関長が発行し、厳封したもの）

（3） 卒業（修了）証明書、又は卒業（修了）見込み証明書

（4） 志願理由書 （本学指定用紙）

（5） 履歴書 （本学指定用紙）

（6） 業務調書 （就業中の者のみ：本学指定用紙）

（7） 受験承諾書 （就業中の者のみ、勤務先代表者の承諾書：本学指定用紙）

（8） 「専門士」の証明書、又は専修学校が発行する修業年限および修了必要総授業時間数を証明する証明書（専修学校卒業（修了）者のみ）

（9） 受験票送付用封筒 （郵送希望者のみ宛先明記のうえ、344円分の切手を貼付すること）

6. 検定料

30,000円　※ 振替払込請求書兼受領証、又は払込受領証を入学願書C票に貼付すること。

7. 選考方法

小論文、面接、提出書類等を総合して判定する。

8. 学力試験

期日	時間	試験科目	場所
2024年1月19日（金）	9:30～11:00	小論文	当別キャンパス
	11:30～	面接	

9. 合格発表

2024年1月26日（金）16:00

※ ホームページ上で発表し、合格者本人宛に書面で通知する。

10. 入学手続

（1） 入学手続期間 ： 2024年1月27日（土）～2月8日（木）

（2） 合格者は上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなければならない。

（3） 入学手続完了者には入学許可書を交付する。

11. 納付金

（1） 入学金：200,000円 （入学時のみ）

（2） 授業料：800,000円 （年額：2期分納可）
（入学手続時及び2年次前期（4月）：400,000円、後期（9月）400,000円）

上記のほか、後援会費（入会金5,000円：本学卒業生は免除、年会費30,000円：2期分納可）を委託徴収する。

（年会費：入学手続時及び2年次前期（4月）：15,000円、後期（9月）：15,000円）

入学手続時の納付金総額：620,000円

※ 入学金、授業料等の「経済的支援制度」については、14ページをご参照ください。

12. 入学辞退する場合の取扱い

入学手続完了後、やむを得ず入学を辞退する場合は、2024年3月29日（金）16:00までに入学辞退届（本学指定用紙）を提出してください。入学金を除く学納金は、入学辞退届の提出日に応じて、次の要領で返還します。また、上記期限までに入学辞退届の提出がない場合、本学学生としての身分が発生しますので、学納金等は一切返還いたしません。

（1） 入学辞退届を3月22日（金）までに提出した場合は、3月29日（金）に返還いたします。

（2） 入学辞退届を3月23日（土）から29日（金）までの間に提出した場合は、4月12日（金）に返還いたします。

注）「入学辞退届」の用紙は、申し出があった場合に送付いたします。

13. 注意事項

（1） 出願にあたっては、必ず事前に志望研究分野の指導教員に連絡を取り、希望する研究内容等について相談のうえ、了承を得てください。

（2） 入学願書を郵送する場合には書留郵便にて提出してください。締切日必着です。

（3） 一度提出した書類および検定料は返還いたしません。

（4） 提出書類に重要事項の記載漏れや虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

（5） 出願に関する問い合わせ先 ： 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 TEL：0133-23-1211

博士後期（博士）課程

ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学専攻

＜一般選抜＞

＜一般選抜＞

1. 募集人員

リハビリテーション科学専攻：2名

2. 募集研究分野

	研究分野
リハビリテーション科学専攻	生体構造機能・病態解析学分野、リハビリテーション治療学分野、 地域健康生活支援学分野

3. 出願資格

下記のいずれかに該当する者

（1） 修士の学位を有する者、又は2024年3月までに取得見込みの者

（2） 外国において、（1）と同等の学位を有する者、又は2024年3月までに授与される見込みの者

（3） （1）（2）と同等以上の学位、又は学力があると認めた者

4. 出願受付

（1） 出願期間　2024年1月18日（木）～1月31日（水）必着

（2） 受付場所　入試広報課

＊出願資格（1）～（2）に該当しない者は出願期間の1ヵ月前までに指導を希望する教員に申し出ること。

5. 出願手続

入学志願者は、下記の書類を入試広報課に提出、又は郵送（締切日必着）すること。

（1） 入学願書A・B・C票 （本学指定用紙）

（2） 修士論文要旨 （任意様式）

（3） 修士課程成績証明書 （最終出身機関長が発行し、厳封したもの）

（4） 修士課程修了証明書、又は修了見込み証明書

（5） 研究計画書 （本学指定用紙）

（6） 履歴書 （本学指定用紙）

（7） 業務調書 （本学指定用紙：職務経験を有する者）

（8） 受験票送付用封筒 （郵送希望者のみ宛先明記のうえ、344円分の切手を貼付すること）

6. 検定料

30,000円　※ 振替払込請求書兼受領証、又は払込受領証を入学願書C票に貼付すること。

7. 選考方法

学科試験、面接および提出書類等を総合して判断する。

8. 学力試験

期日	時間	試験科目	場所
2024年2月7日（水）	9:30～11:00	専門科目*1	当別キャンパス
	11:30～13:00	英語*2	
	14:00～	面接	

*1 リハビリテーション科学分野を中心に出題

*2 辞書使用可（電子辞書は不可）

9. 合格発表

2024年2月16日（金） 16:00

※ ホームページ上で発表し、合格者本人宛に書面で通知する。

10. 入学手続

（1） 入学手続期間 ： 2024年2月17日（土）～3月7日（木）

（2） 合格者は上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなければならない。

（3） 入学手続完了者には入学許可書を交付する。

11. 納付金

（1） 入学金：200,000円 （入学時のみ）

（2） 授業料：750,000円（年額：2期分納可）
（入学手続時及び2年次前期（4月）：375,000円、後期（9月）375,000円）

上記のほか、後援会費（入会金5,000円：本学卒業生は免除、年会費30,000円：2期分納可）を委託徴収する。

（年会費：入学手続時及び2年次前期（4月）：15,000円、後期（9月）：15,000円）

入学手続時の納付金総額：595,000円

※ 入学金、授業料等の「経済的支援制度」については、14ページをご参照ください。

12. 入学辞退する場合の取扱い

入学手続完了後、やむを得ず入学を辞退する場合は、2024年3月29日（金）16:00までに入学辞退届（本学指定用紙）を提出してください。入学金を除く学納金は、入学辞退届の提出日に応じて、次の要領で返還します。また、上記期限までに入学辞退届の提出がない場合、本学学生としての身分が発生しますので、学納金等は一切返還いたしません。

（1） 入学辞退届を3月22日（金）までに提出した場合は、3月29日（金）に返還いたします。

（2） 入学辞退届を3月23日（土）から29日（金）までの間に提出した場合は、4月12日（金）に返還いたします。

注）「入学辞退届」の用紙は、申し出があった場合に送付いたします。

13. 注意事項

（1） 出願にあたっては、必ず事前に志望研究分野の指導教員に連絡を取り、希望する研究内容等について相談のうえ、了承を得てください。

（2） 入学願書を郵送する場合には書留郵便にて提出してください。締切日必着です。

（3） 一度提出した書類および検定料は返還いたしません。

（4） 入学を許可された者が卒業延期となった場合は、入学許可を取り消します。

（5） の理由により入学許可を取り消された者は、前記「入学辞退する場合の取扱い」に従い、入学金を除く学納金の返還手続をとります。

（6） 提出書類に重要事項の記載漏れや虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。

（7） 出願に関する問い合わせ先 ： 入試広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757 TEL：0133-23-1211

大学院　長期履修制度について

本学大学院では、長期履修制度を導入しています。

■長期履修制度とは

長期履修制度とは、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度で、仕事などとの両立を図りながら修了を目指すことができます。

■対象者

有職者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）、出産、育児、介護、その他のやむを得ない事情により、フルタイム学生としての就学が困難な事情があることを要件とします。

■長期履修期間及び在学可能期間

	標準修業年限	長期履修期間	在学可能期間
博士前期（修士）課程	2年	3年又は4年	4年 （標準修業年限2年×2）
博士後期（博士）課程	3年	4年又は6年	6年 （標準修業年限3年×2）

＊ 在学可能期間の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

＊ 休学期間は、上記の期間に含まれません。

＊ 長期履修の有無にかかわらず、在学可能期間内に修了することができない場合には除籍の対象となります。

■授業料

標準修業年限の授業料に相当する額を、次の計算式により、長期履修期間に応じて分割納入していただきます。

授業年限＝当該研究科の授業料年額×標準修業年限÷許可された長期履修期間の年数

（10円未満の端数があるときは、これを切り上げる。）

なお、長期履修期間の変更（短縮又は延長）を認められた場合の授業料の年額は、次の計算式によります。

授業年限＝（当該研究科の授業料年額×標準修業年限－すでに納入した授業料の総額）÷許可された長期履修期間の年数

（10円未満の端数があるときは、これを切り上げる。）

〔授業料の算定例〕

<例1>

リハビリテーション科学研究科博士前期（修士）課程の学生の標準修業年限は2年であるが、長期履修制度により、許可された修業年限が3年の場合の授業料年額

800,000円×2年÷3年＝533,333円

区分	各年度の授業料納入額			修了までの授業料総額
一般学生	1年目 800,000円	2年目 800,000円		1,600,000円
長期履修学生	1年目 533,600円	2年目 533,200円	3年目 533,200円	1,600,000円

<例2>

履修期間を短縮した場合

リハビリテーション科学研究科博士前期（修士）課程の学生の標準修業年限は2年であるが、1年目を終えて

当初予定の長期履修期間4年を3年に短縮した場合

	各年度の授業料納入額				修了までの授業料総額
	1年目	2年目	3年目	4年目	
（A）	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	1,600,000円
（B）	400,000円	600,000円	600,000円	－	1,600,000円

＊ （A）・・・当初の4年の場合の授業料

（B）・・・当初4年の長期履修制度を、1年目を終えて3年に変更した場合の授業料

この制度を利用する場合は所定の手続きが必要です。詳細は下記宛にご照会ください。

・ リハビリテーション科学研究科　　内線2151　　0133-23-1211（代）

＜教育方法の特例＞

本大学院では、夜間その他特定の時間または時期において教育を行うことができる、いわゆる14条特例＊ を実施しています。働きながら学ぶ社会人の学習機会確保の観点から、学生の生活形態を考慮し、大学院における履修形態を弾力化しており、夜間・休日等の開講に当たっては、札幌サテライトキャンパスやe－ラーニングを利用するなど、社会人学生に負担が生じないよう配慮し、教育環境の整備を図っています。

（注）＊大学院設置基準第14条：「大学院の過程においては、教育上特別の必要があると認められた場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

教育訓練給付制度

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。

大学院リハビリテーション科学研究科博士前期（修士）課程、博士後期課程は、教育訓練給付制度（一般教育訓練給付）の指定講座です。一定の要件を満たす者が本課程を修了した場合、対象教育訓練受講のために当該受講者本人が教育訓練施設に支払った費用の一部がハローワークから支給されます。制度の概要等は以下のとおりですが、手続き方法等の詳細は最寄りのハローワークにお問い合わせください。

＜給付を受けることができる方＞

受講開始日現在、在職者であって、雇用保険の被保険者期間が3年以上（初めて支給を受けようとする方については、当分の間、1年以上）あること、受講開始日時点で一般被保険者又は高年齢被保険者でない方は、その資格を喪失した日（離職日の翌日）以降、受講開始日までが1年以内（適用対象期間の延長が行われた場合は最大4年以内）であること、前回の教育訓練給付金受給から今回受講開始日前までに3年以上（※）経過していることなど一定の要件を満たす雇用保険の一般被保険者又は高年齢被保険者、若しくは一般被保険者又は高年齢被保険者であった方が厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合に支給されます。

※ 平成 26 年 10 月 1 日前に教育訓練給付金を受給した場合はこの取扱は適用されません。

＜給付額＞

一般教育訓練給付

教育訓練施設に支払った教育訓練経費の 20%に相当する額となります。ただし、その額が 10 万円を超える場合は 10 万円とし、4 千円を超えない場合は支給されません。

＜教育訓練給付制度の適正な利用に必要となる事項＞

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

（1） 一般教育訓練給付の支給対象となる教育訓練経費とは、教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料（最大1年分）に限られます。

（2） 受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。

（3） 現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

（4） 一般教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、かつ、修了した場合のみ支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、又は修了試験等を受験等した場合には、一般教育訓練給付金は支給されません。また、当該教育訓練の修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあっては、当該教育訓練を修了したものとは認められていませんので、一般教育訓練給付金の支給を受けることはできません。

＜記入例＞ http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~koho/ips/kyoiku-kunren.pdf

【経済的支援制度】

（1）入学金免除

本学の卒業生（※）が本学大学院に進学する場合、入学金を免除します。

※　北海道医療大学、北海道医療大学大学院のいずれかを卒業または修了した者

（2）学校法人東日本学園　大学院生奨学金

次の1～4のいずれかの要件を備え、なおかつ試験成績並びに面接の結果により、人物並びに成績優秀で奨学金の給付が適当と認められた場合、入学金が免除となります。

また、4に該当する場合は授業料30%も免除となります。

1. 北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校、札幌医療福祉専門学校のいずれかを卒業した者
2. 北海道医療大学認定看護師研修センターを修了した者
3. 本学と連携協定を結んでいる医療機関・社会福祉施設等に勤務し、社会人大学院生として入学した者
4. 国外の大学・大学院等を卒業もしくは修了した外国籍を持つ者

（3）学校法人東日本学園　奨学金

人物・学業ともに優秀で、経済的理由により修学困難な方に貸与されます。無利子で、10年以内の均等年賦返還を原則とします。

修士課程　年額 600,000円　／　博士課程　年額 800,000円

（4）日本学生支援機構

機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生・生徒が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的としています。第一種（無利子）と第二種（有利子）があります。

入学者の貸与月額

	修士・博士前期課程 専門職大学院の課程	博士後期課程 博士医・歯・獣医・薬（6年制学部卒） 学課程
第一種奨学金	50,000円 又は 88,000円	80,000円 又は 122,000円
第二種奨学金	50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円のいずれか	

第一種奨学金では、2種類の月額から選択できます。

第二種奨学金では、5種類の月額から選択でき、希望により、採用された年度の4月に遡って借りることができます。

秋季入学者対象の募集も行われます。

貸与期間中に必要に応じて、貸与月額を変更することもできます。

第一種奨学金受給者は、学問分野での成果、専攻分野に関する文化・芸術・スポーツにおける活躍、ボランティア等での社会的貢献活動等を含めた評価によって顕著な業績を認定された場合、返還が免除される制度があります。

【A　票】

受　験　番　号	※

２０２４年度　北海道医療大学大学院リハビリテーション科学研究科　入学願書

＊当てはまる箇所に〇をつけること。

	博士前期(修士)課程		博士後期(博士)課程		一　般　選　抜		社　会　人　選　抜

ﾌﾘｶﾞﾅ		男・女	生年月日 西 暦 年　月　日	専攻	リハビリテーション科学専攻
氏名				指導教員	㊞

＊志望研究分野の指導教員の押印を受けること　↑

現住所	〒　－	電話	(　　) －
連絡先	〒　－ (現住所と同じ場合は無記入)	電話	(　　) －
出願資格 (修　士)	大学 短期大学　学部　学科 専修学校 大学大学院　研究科　専攻	西暦 年　月　日 卒業・卒業見込 修了・修了見込	
出願資格 (博　士)	大学大学院　研究科　専攻	西暦 年　月　日 卒業・卒業見込 修了・修了見込	

出願資格⑹の場合	出願資格審査の上、研究科より出願が認められています。	◯	
学部卒業後の 履歴(詳細に記入)			(写　真) 4cm ×3cm
免許・資格等 (免許番号)	年　月 取得 (　　)		
	年　月 取得 (　　)		
	年　月 取得 (　　)		

記入上の注意

１．黒のボールペンを使用して楷書で記入すること。

２．※印は記載しないこと。

３．本人連絡先は、受験前後に本人が連絡を受けられる場所(電話番号)であること。

４．写真は、脱帽・上半身・正面、縦 4cm ×横 3cm のもので、出願前 3 か月以内に撮影したものを添付すること。

２０２４年度

受　　験　　票

〔Ｂ票〕

受験番号	※

↓いずれかに〇をつけること

一　　般	社　会　人

フ リ ガ ナ	
氏　　名	

（写　　真）

4cm ×3cm

〈切り離さないでください〉

２０２４年度

〔Ｃ票〕

受験番号	※

↓いずれかに〇をつけること

一　　般	社　会　人

全　面　に
のりづけ

振替払込請求書兼受領証・
払込受領書　貼付欄

大学院リハビリテーション科学研究科

※印欄は記載しないこと

大学院リハビリテーション科学研究科

※印欄は記載しないこと

受 験 心 得

1　受験生は、必ず本受験票を持参すること。
2　受験生は、試験開始の 20 分前までに試験室に入室着席し、受験票を机の右端に置くこと。
3　試験中、机の上に置くことのできるものは、特に認められたもの以外、筆記用具（鉛筆・消しゴム）と受験票のみとする。
4　昼食その他の所持品は、監督者の指定する所に置くこと。
5　原則として、試験開始後、1 時間を経過しなければ退場してはならない。
6　試験中は、すべて監督者の指示に従うこと。
7　試験場

北海道石狩郡当別町金沢1757番地
北海道医療大学　当別キャンパス
電話(0133)23-1211

問合せ先：入試広報課（(0133)22-2113

志 願 理 由 書　（博士前期（修士）課程／リハビリテーション科学専攻）

受験番号		ﾌﾘｶﾞﾅ	
一　般 社会人	※	氏　名	

〔本学大学院を志望した理由について、600～800 字程度で述べてください。〕

<裏面に続く>

研 究 計 画 書 （博士後期（博士）課程）

受験番号		ﾌﾘｶﾞﾅ	
一　般	※	氏　名	

研究テーマ

（　　）

研究のねらい（目的・内容）について述べてください。

<裏面に続く>

研究の方法（具体的な進め方）について述べてください。

北海道医療大学大学院　リハビリテーション科学研究科

履　　歴　　書

（写　　真）

4cm×3cm

西暦

年　　月　　日記入

受験番号 ※

＊氏名欄に必ず捺印のこと

フリガナ 氏 名	㊞	性別	男・女	生年月日	西暦 年　月　日
現住所	〒　－			電話	(　　) －

年	月	学　業　・　職　業
		高等学校卒業 中等教育学校卒業

北海道医療大学大学院　リハビリテーション科学研究科

業　務　調　書

ﾌﾘｶﾞﾅ		受験番号
氏 名		※

Ⅰ．現在携わっている業務の内容について具体的に記入してください。

業　　務　　内　　容

Ⅱ．著書、論文、学会発表などがあれば、そのタイトル、掲載誌、学会名、発表年月日などを記入してください。

(1)

(2)

(3)

受験番号	※

受験承諾書（一般・社会人）

西暦　　年　　月　　日

北海道医療大学学長　殿

フリガナ		西暦	
氏　　名		年　　月　　日生	男 ・ 女

上記の者について、貴学大学院を受験することを承諾いたします。

所属機関名

代 表 者 名　　㊞

北海道医療大学大学院リハビリテーション学研究科
北海道医療大学入試広報課
＜当別キャンパス＞
〒061-0293
北海道石狩郡当別町金沢 1757
TEL:0133-23-1211(代表)